一般質問

「周防大島町福祉大会」の開催を！

中村美子議員

問 少子高齢化が進んでいる本町は、「福祉の町」として、種々の福祉向上に多くの方がかかわっている。そんな中で、長年にわたって、自分の利益をも顧みず、社会福祉に尽力されている方々の功績に対し、社会福祉協議会主催の「周防大島町総合福祉大会」の中で、表彰されていたが、ここ３年間、開催されていない。心のかよう健康福祉社会の実現を目指すためにも、これからの開催を望むが町の対応は。

答 長年にわたって社会福祉に功績のあった方々を表彰し敬意と感謝の意を表することにより、今後の社会福祉の一層の発展に努めることとしている。今回の質問については、社会福祉協議会に問い合わせたところ「資金不足及び人員確保が困難で開催していない。今後とも開催予定はない」との回答をもらっている。

今後の対応として、社会福祉協議会と協議を重ねているが、例えば地区の敬老会やその他の各種団体とも調整しながら、県福祉大会に推薦表彰が受けられるよう検討していく。

いい人達 見～つけた

今回は、今年発足10周年をむかえられた家房地区を中心とするフラダンス・チーム「カトレア・クラブ」をご紹介します。

カトレア・クラブは、10年前の４月、ワンフォーオール・オールフォーワン（１人は皆のために、皆は１人のために）の精神をモットーに幅広い年齢層の26名で結成されました。フラダンスを通して、地域の子供達や、看護学生達との交流を始め、各種イベントにも積極的に参加し、特に老人施設の慰問には、大島郡内外を問わず、力を入れているそうです。

結成当初は26名いたメンバーも今では半分の13名になってしまいました。練習は毎週水曜日午後１時半から家房の公開堂を借りて練習されておられます。興味のある方はぜひ見学に行かれてはいかがでしょうか。

クラブ代表者の吉本恵都子さん（家房）は、「毎週水曜日の練習日に参加できる方なら、ぜひ、クラブに入会してもらいたい」とおっしゃっています。カトレア・クラブのさらなる発展と今後の活躍を期待致します。（平野）

盆踊り大会でのカトレア・クラブの皆さんと子供達（家房地区）